

夢をもって仲間とともに！



常務執行役員 上松英司

夢なき者に成功なし

「夢なき者に理想なし，理想なき者に計画なし，計画なき者に実行なし，実行なき者に成功なし。ゆえに，夢なき者に成功なし。」幕末動乱期に活躍し，のちの明治維新で重要な働きをする多くの若者に思想的影響を与えた吉田松陰の言葉です。私自身，十数年目にこの言葉に出会い，今も大切にしています。

技術とは，社会や自身が描くありたい姿を実現するための手段です。技術者が，技術を編み出し，磨き，そして技術を活かすには，先ずは将来のありたい姿（夢やビジョン），自分が実現したい事を描くことが第一歩です。これがないと高い志と熱意を持って事に当たることが出来ません。是非皆さんには大きな「夢」を持っていただきたい。ただ，夢やビジョンは，黙っていても向こうからやって来るものではありません。「自分の夢ってなんだろう？何をしたいんだろう？」と自問しながら，いろんな出会いを呼び寄せることが大事だと思います。「人との出会い」，「情報（本・雑誌，テレビ，ネットなど）との出会い」，「出来事との出会い」により，夢が芽生え，成長し，より深みのあるものになると思います。色んな分野の人の話を聴いたり，新たな職務・学習体験，旅（国内外問わず）など，積極的に気づきや刺激が得られる場に参画してください。

強い心・正しい心で

夢やビジョンを描くことで，自分にとってぶれない目的・目標を定めることが出来ます。またそうすることで，直面するプロジェクトや仕事についても，自分が納得できる目的・目標に落とし込むことが出来ます。そして，目的・目標達成のために計画し（良い戦略を立て），実行（挑戦）してください。実行すればあとは成功あるのみ…。しかし多くの場合，事はそう上手く運びません。大きな（技術的）課題やコスト・時間の制約，時には関係者の理解が得られないなど諸々の難題が立ち向かってくるでしょう。こんな時，同じ夢や目的に共感，共振してくれる仲間と一緒にあれば大抵のことは乗り越えられます。多様な考え，意見を尊重しつつ，「面倒な事から逃げない」，「誤った方向に流されない」という強い心，正しい心で諦めずに行動しましょう。また，時折立ち止まって，最初の目的・目標（ありたい姿）を振り返ることも大事です。

余裕を持って明るく楽しく

ここまで講釈めいた事を述べましたが，私自身これらがきちんと出来ているわけではありません。ただ普段から心がけている事です。また同時に，失ってはいけないものがあります。それは余裕です。心身ともに健康で余裕がなければ，夢やビジョンを描いたり，新しい事に挑戦する意欲は湧きません。さらに，自分一人で考えるのではなく，仲間と気軽に話が出来れば，未来に繋がる新しい発想は生まれません。ある人は，会社には3つの「談」が必要だと言っています。「相談」，「雑談」，「漫談」です。これらが組織を活性化させるし，人や仲間を育て，新しいアイデアを生み出すとのことです。余裕を失っても，失わせてもいけません。2022年度の阪神高速グループスローガンの副題「明るく 楽しく 一歩前進」にもこの想いが強く込められています。